

家畜衛生だより 平成27年7月

紀北家畜保健衛生所

tel 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

tel 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

tel 0735-58-1481

【暑熱対策について】

最近蒸し暑い日々が続いていますが、梅雨が明けると一気に暑さの厳しさが増すと思われます。厳しい暑さは、採食量や受胎率の低下等を招き、家畜の生産性が損なわれます。家畜の生産性を維持・向上させるためにも暑熱対策に取り組みましょう。

【畜舎の環境面から】

まず、畜舎の環境面から考えると、畜舎外から畜舎温度を下げる、または畜舎内から畜舎温度を下げる、という二つの方法が考えられます。

1. 畜舎外からの対策

- ・ 樹木や遮光ネット等の設置
- ・ 屋根、壁、床への断熱材の設置、塗装

例) 牛舎屋根への石灰塗布

塗布面積；800㎡

材 料；石灰（牛舎消毒用）、水、
動力噴霧機、かき混ぜ棒、
ポリバケツ（大）

塗布方法；石灰を水に溶かして石灰乳を作り、
動力噴霧機で屋根に散布する
石灰1：水2の割合
100㎡あたり石灰50kg

塗布面積あたりコスト；33円/㎡

注 意 点；石灰乳がダマにならないように
常にかき混ぜる

（電動ドリルの利用等）

長持ちさせるため、ムラなく丁寧に塗布する

効 果；屋根裏温度約1.5℃低下、牛舎内温度約5℃低下



石灰乳の吹きつけ

2. 畜舎内からの対策

- ・ 換気扇や扇風機での送風
- ・ 家畜への直接送風、散水

例) 畜舎内外からの対策（酪農経営）

散 水；井戸水を利用したスプリンクラーの設置
換気扇等；牛舎壁面に換気扇を設置し、トンネル換気実施
効 果；夏期の乳量増（前年同月に比較し、日乳量が0.4kg/頭増加）
分娩間隔の短縮（前年14.5ヶ月→13.9ヶ月 0.6ヶ月短縮）



牛舎壁面の換気扇（左）



屋根に設置したスプリンクラー（右）

【飼養管理面から】

上記環境面の対策の他に普段からの飼養管理面にも工夫する点があります。

1. 体感温度、イライラを低減

- ・密飼いを避ける
- ・毛刈りの実施（牛）

2. 飼料給与等の工夫

- ・冷たい水を十分飲めるようにする
例）給水管を太くする
- ・採食量の維持
例）涼しい時間帯に飼料給与、1回の給与量を少なくし、給与回数を増やす
- ・良質で消化率の高い飼料を与える
- ・必要に応じて、ビタミンやミネラルを給与

※参考【暑熱と子牛・育成牛について】

子牛や育成牛は、体重に占める体表面積の割合が大きく、熱放散がしやすいこと、エネルギー要求量も維持の2倍程度（成泌乳牛は3～4）と小さいことから、高温の影響は小さいと考えられていました。しかし高温環境下では、体温上昇を防ぐために必要なエネルギー量は増加する一方で、採食量が落ち、摂取できるエネルギー量は低下するため、生産にまわるエネルギーはますます減少します。

子牛や育成牛も成牛と同じように暑熱の負の影響を受けることを覚えておきましょう。

以上のように暑熱対策を述べてきましたが、それぞれの対策を組み合わせると、より効果的になると思われます。暑熱対策は毎年の事ですが、早めの措置で暑い夏を乗り切りましょう。

不明な点があれば、最寄りの家畜保健衛生所までお問い合わせ下さい。